

ショートアニメ・シリーズ「FUTURE KID TAKARA」

第10話 「みんなでできる『10のこと』」授業づくりアイデアシート

【第10話のストーリー】

CO₂を排出してこなかった南の島々では、海面上昇で気候難民が発生。不公平さを感じたサウたちは、「気候正義」や一人一人にできる「10の行動」について学び、声を上げることの大切さに気づきます。

【はじめに】

21世紀を生き抜くための資質・能力を育むため、子どもたちが自ら課題を発見し、他者と協働しながら解決していく力を育てられるような学び方が注目されています。本教材は、地球温暖化に対し、子どもたちが興味・関心を持ち、自分ごととして考えることができるよう構成されています。

本動画では、CO₂を出さない暮らし方の実現のために個人でも取り組める行動を提案しています。さらに、「気候正義」に基づいて世界中の若者が声を上げていることを紹介し、未来を変えるという気持ちを持ち続けることの大切さについて訴えています。本教材をご活用いただき、先生方と児童・生徒の“協働的な学び”で未来を一緒に考えながら、関心のあるテーマでは「個別最適化学び」として、各自の探究学習等にも繋げていただくことを願っております。

【この動画と関連がある主な学習内容・学年】

		学年・内容	関連するポイント
小学校	理科	6年：電気の利用	光電池を扱い、電気をつくりだす道具があることを知ると共に、風力や太陽光といった自然エネルギーでつくりだした電気が活用できること、蓄電器に蓄えて効率的に利用できることを学習することが可能です。
	社会	4年：人々の健康や生活環境を支える事業	廃棄物を処理する事業では、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう工夫して進められていることを学びます。また4Rや食品ロスの軽減など廃棄物を減らすための方法を考えることも可能です。
		5年：我が国の工業生産	工業による環境負荷の大きさに気付かせ、消費者や生産者の環境に対する願いが、工業生産により実現されること、持続可能性に配慮した工業生産がすすめられていることを取り上げることが可能です。
	家庭科	5・6年：快適な住まい方	窓の外側で太陽の熱をさえぎると暑さを防ぐ効果が大きいことを確かめたり、窓の開閉条件を変えて風通しを比べたりして、夏季を涼しく過ごすための工夫を考えます。
		5・6年：環境に配慮した生活	環境にできるだけ負荷を掛けないため、物を長く大切に活用したり、無駄なく使い切ったり、使い終わった物を他の用途に再利用することを学ぶことが可能です。
中学校	理科	自然環境の保全と科学技術の利用	自然環境の保全について、我が国の果たすべき役割について触れる際に、地域によって影響を受ける格差があること、現在の地球環境の悪化は先に豊かになった先進国の責任が大きいことを学ぶことが可能です。
	社会	地理的分野：交通・通信	各地方の「交通や通信を中核とした考察の仕方」を基に学習する際に、移動手段による環境負荷について触れることが可能です。
		公民的分野：世界平和と人類の福祉の増大	地球温暖化の影響を大きく受けってしまう立場の弱い国々に対して、国際社会はどのような対応や対策を考えているのか調べることは可能です。
その他		「道徳」や「総合的な学習の時間」でご使用いただくことも可能です。 また国際連合について授業で学ぶ時や、国際交流、世界の諸地域について学ぶ際に、一緒に学ぶことも可能です。	

【本教材の授業での使い方の例】

本教材（第10話 約5分）を活用した授業の流れの一例です。

学習内容	別のアプローチ
1. 動画を見る前に 動画を見る前にワークシートで、これまでに知っていることを書き出します。	先に動画を見てから、まとめて書くことも可能です。
2. 動画を見る 動画を視聴します。	適宜、一時停止をしながら確認することも可能です。
3. 動画を見た後に 動画を見た後、再度個人での考える時間、または複数人のグループでの話し合いの時間を設けます。必要に応じて、自身の結論を導くために他の事例などをインターネットなどでの調べ学習なども行ってください。	動画を見終わって、まず素直な感想や、印象に残ったセリフについて語り合うところから始めていただくのも良いと思います。
4. 教室内で共有する 何人か、またはいくつかのグループの代表が、根拠とともに考えをまとめて発表し、教室内で共有します。	教室内で共有した後、あらためて子どもたち一人一人に自分の考えを書いてもらうやり方もあります。

※本教材を単体で使うこともできますし、他の話と組み合わせて総合学習や探究学習に使うことも可能です。

※この流れはあくまで一例です。先生方のご指導される学校の実態にあわせてご活用をお願いいたします。

【ワークシートの3問をより深めた追加の問いかけの例】

これまでの学習内容に応じて、以下のような追加の問いを立てることも可能です。

★大気に国境はありません。先に豊かになった国々や人々が排出したCO₂のせいで、異常気象や海面上昇などの被害が出て、貧しい国や弱い立場の人々が苦しんでいることについて、どう感じましたか？

★気候正義がどうして大事なのか、あなたが理解したことをまとめてみましょう。

★子どもは、大人よりもずっと長く地球温暖化が激しくなる時代を生きていかなければなりません。
あなたが大人に訴えたいことはありますか？ 誰に、何を伝えたいか、考えてみましょう。

【参考資料】

子どもたち向け			
サイト名	運営	QR	URL
個人でできる10の行動	国際連合広報センター		https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/climate_change_un/actnow/
SDGsを実践するための暮らしのヒント	環境省		https://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/patternlanguage.html
学校給食の牛乳をストローレスパックに変更します！	神奈川県川崎市		https://www.city.kawasaki.jp/880/cmsfiles/contents/0000148/148601/school_lunch_straw.pdf
この他にも、子どもたちの声で社会が変わった事例などを題材にすることができます。 ・マイクロプラスチックストーリー https://www.microplasticstory.org/ ・神奈川県の学校での再生可能エネルギー導入事例等 https://saiene.jp/latest/15360/			
先生向け 環境教育関連サイト			
地球温暖化まなびBOX	全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）		https://www.jccca.org/climate-change-education/manabi-box
環境学習STATION	環境省		https://policies.env.go.jp/policy/eco/
デコ活	環境省		https://ondankataisaku.env.go.jp/dekokatsu/



FUTUREKID
TAKARA

#10 「みんなでできる『10のこと』」 ワークシート

年 組 名前

① これまでに知っていたことをまとめてみましょう

地球温暖化の原因は主に CO₂ですが、たくさん出してきた国とそうでない国があることを知っていましたか？ これまでにニュースなどで聞いたことがある温暖化についての知識を自由に書いてみましょう。

② 映像を見て新しく知ったことから考えてみましょう

「10の行動」のなかで、あなたが自分でできることはありますか？ できるだけたくさん考えてみましょう。

③ グループや学級みんなで考えてみましょう

地球温暖化をくい止めるために、なぜ「声を上げる」ことが大事なのか、一緒に考えてみましょう。